

松江工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	基礎オペレーティングシステム				
科目基礎情報								
科目番号	0034	科目区分	専門 / 選択					
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2					
開設学科	情報工学科	対象学年	4					
開設期	後期	週時間数	2					
教科書/教材	(教科書) 菊田隆彰ら: オペレーティングシステム(未来へつなぐ デジタルシリーズ 25), 共立出版(2007)							
担当教員	稻葉 洋							
到達目標								
(1) オペレーティングシステムの定義、役割について理解している。 (2) プロセスとそのスケジューリングについて理解し、説明できる。 (3) 並行プロセスの考え方について理解し、説明できる。 (4) メモリ管理・メモリ保護について理解し、説明できる。 (5) ファイルシステムについて理解し、説明できる。 (6) カーネルの仕組みについて理解し、説明できる。 (7) 入出力の方法について理解し、説明できる。								
ループリック								
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
OSに関する理解		OSに関する基礎的な知識を習得し説明できる。また、これら知識をプログラミング等で活用できる	OSに関する基礎的な知識を習得し説明できる	OSに関する基礎的な知識を習得していない				
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 2								
教育方法等								
概要	オペレーティングシステム(OS)とは、ユーザーやアプリケーションにコンピュータを操作するための機能を提供するプログラムの集合体を指します。OSは、コンピュータのハードウェアを操作し人間にとて使いやすいものにすると同時に、コンピュータの資源(リソース)を効率的に利用できるようにします。本講義では、オペレーティングシステムの概要、プロセスの概念、ファイルシステム、セキュリティ、入出力などオペレーティングシステムの基礎知識を、担当教員が企業在職時に培ったソフトウェア開発の経験やその際に得たノウハウを盛り込みながら説明します。入出力の講義では、J4計算機工学の範囲(入出力機構)の説明を行います。							
授業の進め方・方法	到達目標(1)～(4)を中間試験で、(5)～(8)を期末試験で評価する(90%)。また理解度確認の課題(レポート)を行つ(10%)。 (中間得点*1/2 + 期末得点*1/2)*0.9 (但し、小数点以下切り上げ) プラスレポート点10点満点の合計が60点以上(100点満点)を合格とする。							
注意点	・「全てのレポートを期日までに提出した者」のみ、定期試験の結果に応じて再試験を行う ・学修単位科目であり、1回の講義(90分)あたり180分程度の予習・復習をしているものとして講義・演習を進める(理解度確認のレポートの実施・提出がこれに相当する)							
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
後期	3rdQ	1週	(1) オペレーティングシステムの定義、役割について理解している。					
		2週	(1) オペレーティングシステムの定義、役割について理解している。					
		3週	(2) プロセスとそのスケジューリングについて理解し、説明できる。					
		4週	(2) プロセスとそのスケジューリングについて理解し、説明できる。					
		5週	(2) プロセスとそのスケジューリングについて理解し、説明できる。					
		6週	(3) 並行プロセスの考え方について理解し、説明できる。					
		7週	(3) 並行プロセスの考え方について理解し、説明できる。					
		8週	(4) メモリ管理・メモリ保護について理解し、説明できる。					
	4thQ	9週	中間試験 1～8回までの内容を確認する。					
		10週	(5) カーネルの仕組みについて理解し、説明できる。					
		11週	(6) ファイルシステムについて理解し、説明できる。					
		12週	(5) カーネルの仕組みについて理解し、説明できる。 (7) 入出力の方法について理解し、説明できる。					
		13週	(5) カーネルの仕組みについて理解し、説明できる。 (7) 入出力の方法について理解し、説明できる。					

		14週	出入力3 出入力装置の制御方法について講義する。	(5) カーネルの仕組みについて理解し、説明できる。 (7) 出力の方法について理解し、説明できる。
		15週	期末試験 8-14回までの内容を確認する	
		16週	まとめ 試験の解答とまとめ	

### モデルルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	プログラミング	代入や演算子の概念を理解し、式を記述できる。	3
				プロシージャ(または、関数、サブルーチンなど)の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。	3
				与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。	3
				ソフトウェア生成に必要なツールを使い、ソースプログラムをコードモジュールに変換して実行できる。	3
				主要な言語処理プロセッサの種類と特徴を説明できる。	3
		システムプログラム	システムプログラム	ソフトウェア開発に利用する標準的なツールの種類と機能を説明できる。	3
				コンピュータシステムにおけるオペレーティングシステムの位置づけを説明できる。	3
				プロセス管理やスケジューリングなどCPUの仮想化について説明できる。	3
				排他制御の基本的な考え方について説明できる。	3
				記憶管理の基本的な考え方について説明できる。	3
				コンパイラの役割と仕組みについて説明できる。	2

### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	90	0	0	0	0	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0